

日本福祉大学後援会  
第36回 定例総会  
議案書

2024年6月22日(土) 13:30~14:10

---

◆議 事

1. 2023年度事業報告(案)について
2. 2023年度決算(案)について
3. 2024年度事業計画(案)について
4. 2024年度予算(案)について
5. 2024年度役員(案)について

## 1. 2023年度事業報告（案）について

### (1) 学生の諸活動への援助

コロナ禍によって停滞した学生活動を活発化させることを目的とし、これまで以上に学生活動の支援に重きを置き、学生の主体性を尊重しつつ、諸活動へ様々な援助を行った。その結果、国内のフィールドワーク、海外研修・調査奨励事業、短期留学も再開・増加した。また昨年度、一定の成績を残した特別強化指定部の活動支援強化、公認サークルの活性化への支援を行った。

#### ① 学生活動支援助成：助成総額 15,864,163 円

様々な学生支援事業に対して助成を行った。学生への褒賞・奨励では、地域貢献活動やスポーツ等で活躍した学生に表彰を行った。

##### <助成事業一覧>

- ・サークル強化育成事業助成：4,600,000 円
- ・サークル・課外活動の各分野で活躍した学生への褒賞・奨励：1,710,000 円
- ・全サークルを対象とした高額備品等購入助成：3,902,678 円
- ・イベント事業への助成（各キャンパスの大学祭等）：2,200,000 円
- ・海外研修・調査奨励事業：1,694,910 円
- ・語学検定料助成：235,685 円
- ・短期留学助成：1,410,010 円
- ・課外活動助成事業消耗品費：110,880 円

#### ② 就職指導助成（就職活動支援資料や就職セミナーの開催等）：助成額 2,887,316 円

例年発刊している3年生向けの就職指導冊子「Future Note」と新2年生保護者対象の「親子就活のススメ」、就職指導冊子の購入、CDP 講座の「就職筆記試験のための基礎講座」への助成に加え、CDP 講座受講料補助（1人あたり最大3,000円、2年目）を行った。

#### ③ 通信教育部助成（通信教育部学生の学習支援）：助成額 700,000 円

通信課程に在学する学生が全国各地で開催する地域学習会の運営経費補助および障害学生向けの情報保障等に対して助成を行った。

#### ④ 奨学助成（経済援助給付型奨学金の一部として）：助成額 2,000,000 円

大学の独自奨学制度（日本福祉大学経済援助給付奨学金）の一部として助成を行った。

#### ⑤ 資格取得支援助成（資格取得に際する対策等への支援）：助成額 4,387,440 円

各種国家資格取得のための対策講座に以下のとおり助成を行った。

<助成事業一覧>

- ・社会福祉学部における社会福祉士および精神保健福祉士国家試験の合格率向上に向けた取り組み：2,312,000円
- ・看護学部における国家試験対策講座支援：1,020,000円
- ・健康科学部リハビリテーション学科における国家試験対策支援：1,055,440円

《参考：（ ）内は学内新卒合格率》

- ・第36回社会福祉士国家試験：新卒合格者167名（合格率69.9%）  
通学課程新卒合格者数 全国大学1位
- ・第26回精神保健福祉士国家試験：新卒合格者17名（合格率94.4%）
- ・第113回看護師国家試験：新卒合格者96名（合格率99.0%）
- ・第59回理学療法士国家試験：新卒合格者30名（合格率100%）
- ・第59回作業療法士国家試験：新卒合格者37名（合格率97.4%）
- ・第36回介護福祉士国家試験：新卒合格者22名（合格率100%）

- ⑥フィールドワーク助成（大学と協定を結ぶ団体等と共同で実施するフィールドワーク事業に対する支援）：

<助成事業一覧>

- ・フィールドワーク（地域連携教育・他職種連携教育）を通じた学びの質向上およびキャリア支援：助成額120,594円
- ・山形県最上町での地域福祉フィールドワーク：助成額276,462円

- ⑦文化・スポーツ応援活動事業（学生同士が互いに応援し、励ましあう文化を醸成できるよう、関連する経費への援助）：予備費の項目で全国大会や国際的な大会に出場した際の応援費用を主な内容として想定し、関係課室と検討を進めたが、具体化に至らなかった。

- ⑧特別支援事業（年度途中で大学が計画した学生支援事業や、各学部等からの申請に基づく諸事業に対する助成）：助成額3,102,590円  
障害学生支援のためのサポート学生育成・交流事業や有事の際の安否確認システム、部・サークル活動の活性化支援への助成を行った。

<助成事業一覧>

- ・障害のある学生の支援のためのサポート学生育成・交流事業：172,498円
- ・発災時における安全確認を目的とした安否確認システムの導入：523,000円
- ・硬式テニス競技への環境整備支援：671,000円
- ・特別強化指定部・強化支援部への支援強化：1,236,092円
- ・公認サークル活性化：500,000円

## (2) 会員と大学との交流

昨年度に引き続き、オンラインを活用した後援会定例総会や就職説明会、保護者懇談会を実施し、日本福祉大学社会福祉セミナーも YouTube 配信で行うなど、対面を重視しつつ、オンラインも併用した取り組みとした。

- ① 6月24日(土)第35回後援会定例総会と後援会幹事会をハイブリッド(対面+オンライン)で開催し、計173名が参加した。
  - ② 7月以降全国各地でセミナーを8回(福井、岐阜、富山、金沢、静岡、四日市、飯田、東京)開催し、計1,742名が参加した。
  - ③ 7月29日(土)保護者会員を対象とした就職説明会を開催し、計93名が参加した。
  - ④ 学部と共同開催の「学部別保護者懇談会」に計463名が参加した。
- ・大学セミナーの開催会場、学部別保護者懇談会の全学部実施、社会福祉セミナー(東京)を学園創立70周年記念事業として開催したことなどで、上記①～④の参加は総計2,471名となり、昨年度よりも900名以上多い参加となった。

## (3) 広報・通信事業

会員への情報発信を目的に、保護者向け情報の掲載・更新を行った。また福祉への理解を深めていただく目的で、『はじめてのふくし』(冊子)の送付も行った。

- ・後援会会報誌『エスパシオ』36号を発刊し、ホームページでの公開を行った。
- ・通学課程新入生保護者向け『別冊エスパシオ』36号を後援会ホームページで公開した。
- ・後援会ホームページの充実を図った。  
(大学セミナー開催報告、法人会員向けページの更新等)
- ・本学が提唱する「ふくし」の広さと奥深さを様々な視点や事例を参考に、わかりやすくまとめた冊子『はじめてのふくし』を会員に送付した。

## (4) 記念品贈呈事業

通学課程の新入生全員に下記の書籍を入学記念品として贈呈した。

- ・書籍：『日本の福祉を築いたお坊さん—日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語』(星野貞一郎著、中央法規、2011)

## (5) その他

- ① 学園創立70周年記念事業(2023年度から3年間)に向け、特別会計(大学記念事業資金積立)に1,200万円を積み立てた。
- ② コロナ禍に入学した学生の卒業を祝うために、学位記授与式におけるフォトスポット等への助成を行った。

以上

## 2. 2023年度決算（案）について

【一般会計の部】（単位：円）

収入の部

2023年4月1日～2024年3月31日

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
会 費	60,975,000	61,412,500	△ 437,500	普通会員1,307名、法人会員58社
雑 収 入	500	454	46	利息
前年度繰越金	12,943,313	12,943,313	0	
合 計	73,918,813	74,356,267	△ 437,454	

支出の部

2023年4月1日～2024年3月31日

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
<b>1. 運営費</b>	<b>2,250,000</b>	<b>2,020,214</b>	<b>229,786</b>	
1) 役員会費	300,000	215,628	84,372	交通費等
2) 人件費	1,700,000	1,676,180	23,820	事務員給与
3) 印刷費	200,000	77,759	122,241	案内状、封筒印刷費等
4) 事務費	50,000	50,647	△ 647	振込手数料等
<b>2. 事業費</b>	<b>20,500,000</b>	<b>18,948,584</b>	<b>1,551,416</b>	
1) 総会・講演会費	5,500,000	5,550,890	△ 50,890	案内発送、講師料、新聞広告費等
2) 会報費	6,500,000	6,445,140	54,860	会報「エスバシオ」（36号・36号別冊）、「はじめてのふくし」制作費
3) 出版物郵送費	1,000,000	704,137	295,863	会報「エスバシオ」36号、「はじめてのふくし」郵送費
4) 地域講演会費	6,500,000	6,159,151	340,849	大学セミナー会場開催費、社会福祉セミナー開催費、学部別保護者懇談会開催費、Uターン就職セミナー開催費等
5) 法人向け事業費	800,000	89,266	710,734	
6) ホームページ制作費	200,000	0	200,000	
7) 動画コンテンツ制作費	0	0	0	
<b>3. 助成事業費</b>	<b>36,200,000</b>	<b>29,338,565</b>	<b>6,861,435</b>	
1) 学生活動支援助成費	20,000,000	15,864,163	4,135,837	サークル強化育成、活躍学生褒賞・奨励、高額備品購入、イベント事業、海外研修・調査奨励事業、語学検定料、短期留学等の助成費
2) 就職指導助成費	3,500,000	2,887,316	612,684	就職支援冊子制作費、CDP講座受講助成等
3) 通信教育部助成費	700,000	700,000	0	通信生スクーリング助成費等
4) 奨学助成費	2,000,000	2,000,000	0	奨学助成費原資の一部
5) 資格取得支援助成費	5,500,000	4,387,440	1,112,560	資格対策講座受講費等
6) フィールドワーク助成費	500,000	397,056	102,944	
7) 特別支援事業費	4,000,000	3,102,590	897,410	年度途中で申請された学生支援事業助成等
<b>4. 入学記念品費</b>	<b>1,200,000</b>	<b>924,814</b>	<b>275,186</b>	入学記念品購入費
<b>5. 予備費</b>	<b>1,768,813</b>	<b>510,000</b>	<b>1,258,813</b>	文化・スポーツ応援活動事業費（執行なし）、フォトスポット等の助成
<b>6. 大学記念事業資金積立</b>	<b>12,000,000</b>	<b>12,000,000</b>	<b>0</b>	大学記念事業資金積立への繰り入れ
<b>7. 特別学生支援事業費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>8. 次年度繰越金</b>	<b>0</b>	<b>10,614,090</b>	<b>△ 10,614,090</b>	
合 計	73,918,813	74,356,267	△ 437,454	

【特別会計の部】（単位：円）

①大学記念事業資金積立金

収入の部

項 目	決 算 額	備 考
前年度繰越金	171,257,377	
当年度繰入金	12,000,000	
利息収入	3,066	
合計	183,260,443	

支出の部

項 目	決 算 額	備 考
残高証明書発行手数料	1,624	
合計	1,624	

次年度繰越金 183,258,819 (A)

②特別学生支援助成費

収入の部

項 目	決 算	備 考
前年度繰越金	100,001,730	
当年度繰入金	0	
利息収入	1,695	
合計	100,003,425	

支出の部

項 目	決 算	備 考
残高証明書発行手数料	550	
合計	550	

次年度繰越金 100,002,875 (B)

特別会計の部合計 283,261,694 (A) + (B)

【2023年度後援会総資産高】（単位：円）

一般会計の部 次年度繰越金	10,614,090
特別会計の部合計	283,261,694
総 資 産 額	293,875,784

# 日本福祉大学後援会監査報告書

2024年5月11日（土）

日本福祉大学後援会  
会長 安川 彰 吉 殿

監査 福田 仁志

監査 各務 元浩

日本福祉大学後援会の2023年度決算にかかる決算諸表ならびに諸帳票について監査を行いました。

監査の結果、計算書類ならびに諸帳票は、適正に記録されていることを認めます。

以上、ご報告いたします。

以 上

### 3. 2024年度事業計画（案）について

コロナ禍によって停滞した学生生活動（課外活動、フィールドワーク等）の活発化に向けて、継続してこれらの支援に重きを置く。また顕著な結果が出ている特別強化指定部、強化支援部を含むサークル全般の活動についても引き続き強化を行う。

2023～2025 年度を期間としている学園創立 70 周年記念事業と連携して、会員と大学、同窓会との交流促進を行う。

#### 1) 学生の諸活動への援助

##### (1) 学生への助成事業

###### ①学生生活動支援助成

- ・サークル強化育成事業助成
- ・サークル・課外活動の各分野で活躍した学生への褒賞・奨励
- ・全サークルを対象とした高額備品購入助成
- ・イベント事業への助成（各キャンパスでの大学祭等）
- ・海外研修・調査奨励事業（オンラインを含む）への助成
- ・語学検定料助成
- ・短期留学（オンラインを含む）助成
- ・文化・スポーツ応援活動事業への助成（学生同士が互いに応援し、励ましあう文化を醸成できるよう、活動報告会をはじめとしたイベント等への経費援助）
- ・発災時における安否確認システムの運営費への一部助成

###### ②就職指導助成

- ・就職活動支援資料助成
- ・CDP（キャリアデベロップメントプログラム）講座受講料の割引（1人3千円の助成）

###### ③通信教育部助成（地域学習会をはじめ障害学生用テキストデータの作成等）

###### ④奨学助成（経済援助給付型奨学金の一部として）

###### ⑤資格取得支援助成（資格取得に際する対策等への支援）

###### ⑥フィールドワーク助成（大学と協定を結ぶ団体等と共同で実施するフィールドワーク事業に対する支援）

###### ⑦特別支援事業（年度途中で大学が計画した学部横断的な学生支援事業に基づく諸事業に対して、弾力的な援助を行う）

(2) 大学と共催で学生生活動支援助成事業贈呈式を開催する（12月14日（土）開催予定）。

#### 2) 会員と大学との交流

(1) 後援会幹事会（6月22日（土）および12月14日（土）予定）の開催

(2) 後援会第36回定例総会（6月22日（土））の開催

(3) 2024年度日本福祉大学後援会実施事業一覧（大学セミナー等）

開催日	開催地	テーマ	講師
6月22日 (土)	名古屋	” Well-being for All” の実現に向けて	・村木厚子 ・榊原定征 ・荒井秀典 ・原田正樹 学長
8月3日 (土)	オンライン	日本福祉大学の就職支援・制度ご紹介セミナー	・鈴木健司 就職部長 ・就職協定を締結した自治体等の担当者
8月10日 (土)	下関	災害の時に特に助けが必要な人を助けられる社会をどう作るか	・新美綾子 教授
9月22日 (日)	草津	災害にも生きる地域の繋がりづくり ー 貧困や孤立・孤独の課題を地域で支えようー	・菊池遼 講師
9月28日 (土)	飯田	南信州から考えるこどもの貧困と支援のあり方 ー 医療の現場から見えることー	・和田浩 (健和会病院小児科医)、他 ・宮國康弘 講師
10月12日 (土)	新潟	ダウン症の娘 (こ) と共に生きて	・金澤泰子 客員教授 ・金澤翔子 客員准教授
10月20日 (日)	四日市	日本福祉大学にとってのスポーツの意義	・三井利仁 教授
11月10日 (日)	京都	さまざまな” Well-being” のかたち ー リハビリテーションの立場からー	・山中武彦 学部長
11月17日 (日)	静岡	福祉のバトンを次世代へ	・河合純一 (日本パラリンピック委員会委員長・競泳金メダリスト)、他

(4) 学部別の保護者懇談会等を開催する。

キャンパス	学部	開催日	開催形式
美浜	社会福祉学部	9月14日 (土) AM	対面形式
	教育・心理学部	9月14日 (土) AM	対面形式
	スポーツ科学部	9月14日 (土) PM	ハイブリッド形式
半田	健康科学部	4月21日 (日) AM・PM	ハイブリッド形式
東海	経済学部	9月15日 (日) AM・PM	対面形式
	国際学部/国際福祉開発学部	9月21日 (土) PM	対面形式
	看護学部	9月21日 (土) AM	対面形式

(5) 法人会員を対象とした事業を実施する。あわせて法人会員の拡充に向けた取り組みを行う。

### 3) 広報・通信事業

- (1) 後援会会報誌『エスパシオ』を発刊し、後援会ホームページで公開する。
- (2) 通学課程新入生保護者向け学生生活ガイド『別冊エスパシオ』を後援会ホームページで公開する。
- (3) 後援会ホームページの充実  
掲載コンテンツ：大学近況報告、保護者向け就職情報の掲載等
- (4) はじめてのふくしの送付  
本学が提唱する「ふくし」の広さと奥深さを様々な視点や事例を参考に、分かりやすくまとめた冊子『はじめてのふくし』を会員にお送りし、福祉への理解を深めていただく（新規会員対象）。

### 4) 記念品贈呈事業

通学課程の新入生全員に下記の入学記念品を贈呈する。

- ・書籍：『日本の福祉を築いたお坊さん—日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語』



(星野貞一郎著、中央法規、2011)

### 5) 学園創立 70 周年記念事業への協力について

学園の記念事業への協力を目的とした「大学記念事業資金積立金」より、180,000,000 円を学園に寄付する。(60 周年時は 200,000,000 円を寄付)

また次の周年記念事業への協力に向けて、12,000,000 円の積立を行う。

以上

## 4. 2024年度予算（案）について

【一般会計の部】（単位：円）

収入の部		2024年4月1日～2025年3月31日		
項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
会 費	61,952,500	61,412,500	540,000	普通会員1,282名、法人会員53社分
雑 収 入	500	454	46	利息
前年度繰越金	10,614,090	12,943,313	△ 2,329,223	
合 計	72,567,090	74,356,267	△ 1,789,177	

支出の部		2024年4月1日～2025年3月31日		
項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
<b>1. 運営費</b>	<b>2,200,000</b>	<b>2,020,214</b>	<b>179,786</b>	
1) 役員会費	300,000	215,628	84,372	交通費等
2) 人件費	1,700,000	1,676,180	23,820	事務員給与
3) 印刷費	150,000	77,759	72,241	案内状、封筒印刷費等
4) 事務費	50,000	50,647	△ 647	振込手数料、事務用品等
<b>2. 事業費</b>	<b>18,100,000</b>	<b>18,948,584</b>	<b>△ 848,584</b>	
1) 総会・講演会費	6,000,000	5,550,890	449,110	案内発送、講師料、新聞広告費等
2) 会報費	6,000,000	6,445,140	△ 445,140	会報「エスパシオ」「はじめてのふくし」制作費
3) 出版物郵送費	800,000	704,137	95,863	会報「エスパシオ」「はじめてのふくし」郵送費
4) 地域講演会費	5,000,000	6,159,151	△ 1,159,151	大学セミナー会場開催費、社会福祉セミナー開催費、学部別保護者懇談会開催費、Uターン就職セミナー開催費等
5) 法人会員関連事業費	300,000	89,266	210,734	
6) ホームページ制作費	0	0	0	(今年度は予算執行予定なし)
7) 動画コンテンツ制作費	0	0	0	(今年度は予算執行予定なし)
<b>3. 助成事業費</b>	<b>34,500,000</b>	<b>29,338,565</b>	<b>5,161,435</b>	
1) 学生活動支援助成費	20,000,000	15,864,163	4,135,837	サークル強化育成、活躍学生褒賞・奨励、高額備品購入、イベント事業、海外研修・調査奨励事業、語学検定料、短期留学、文化・スポーツ応援活動事業、安否確認システム運営費等の助成費
2) 就職指導助成費	3,000,000	2,887,316	112,684	就職支援冊子制作費、CDP講座受講助成等
3) 通信教育部助成費	700,000	700,000	0	通信生スクーリング助成費等
4) 奨学助成費	2,000,000	2,000,000	0	奨学助成費原資の一部
5) 資格取得支援助成費	5,000,000	4,387,440	612,560	資格対策講座受講費等
6) フィールドワーク助成費	800,000	397,056	402,944	
7) 特別支援事業費	3,000,000	3,102,590	△ 102,590	年度途中で申請された学生支援事業助成等
<b>4. 入学記念品費</b>	<b>1,000,000</b>	<b>924,814</b>	<b>75,186</b>	入学記念品購入費
<b>5. 予備費</b>	<b>4,767,090</b>	<b>510,000</b>	<b>4,257,090</b>	
<b>6. 大学記念事業資金積立</b>	<b>12,000,000</b>	<b>12,000,000</b>	<b>0</b>	大学記念事業積立資金への繰り入れ
<b>7. 特別学生支援事業費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	特別会計への送り出しおよび引き出し用項目として使用 (今年度は予算執行予定なし)
<b>8. 次年度繰越金</b>	<b>0</b>	<b>10,614,090</b>	<b>△ 10,614,090</b>	
合 計	72,567,090	74,356,267	△ 1,789,177	

【特別会計の部】（単位：円）

①大学記念事業資金積立金

収入の部

項 目	予 算	備 考
前年度繰越金	183,258,819	前年度（2023年度）期末残高
当年度繰入金	12,000,000	
利息収入	2,500	普通預金利息+定期預金利息
合計	195,261,319	

支出の部

項 目	決 算	備 考
学園70周年記念事業協力金	180,000,000	学園への寄付
残高証明書発行手数料	1,624	
合計	180,001,624	

大学記念事業資金積立金 合計	15,259,695	(A)
----------------	------------	-----

②特別学生支援助成費

収入の部

項 目	予 算	備 考
前年度繰越金	100,002,875	
当年度繰入金	0	
利息収入	1,500	普通預金利息+定期預金利息
合計	100,004,375	

支出の部

項 目	決 算	備 考
残高証明書発行手数料	550	
合計	550	

特別学生支援助成費 合計	100,003,825	(B)
--------------	-------------	-----

特別会計の部 合計	115,263,520	(A)+(B)
-----------	-------------	---------

【2024年度後援会総資産高】（単位：円）

一般会計の部 次年度繰越金	0
特別会計の部 合計	115,263,520
総資産額	115,263,520

## 5. 2024年度役員（案）について

本会会則第5条、第6条及び第8条に基づき役員の変更を以下の通り提案する。

### 1) 退任役員

副会長	岩切 道郎	元名古屋鉄道株式会社 専務執行役員
副会長	中山 衣代	保護者
幹事	出口 晴美	保護者
幹事	伊藤 大	保護者
幹事	河田 礼美	保護者
幹事	榊原 和広	保護者
幹事	道下 基巳乃	保護者
幹事	日高 友美	保護者
幹事	平澤 正史	保護者
幹事	平敷 安希博	保護者
幹事	森田 美奈子 ※	保護者
幹事	山田 祐輔 ※	保護者
監査	福田 仁志 ※	保護者

※役職の異動

### 2) 新任役員

副会長	安藤 直樹	名古屋鉄道株式会社 常務執行役員
副会長	森田 美奈子 ※	保護者
幹事	福田 仁志 ※	保護者
幹事	河竹 貴子	保護者
幹事	浅井 紳一郎	保護者
幹事	榊原 由子	保護者
幹事	梶田 麻子	保護者
幹事	御厨 麻紀子	保護者
幹事	花井 智	保護者
幹事	亀井 三千	保護者
監査	山田 祐輔 ※	保護者

※役職の異動

3) 2024 年度役員一覧

会長	安川 彰吉	元愛知製鋼株式会社 取締役会長	留任
副会長	榊原 康弘	半田商工会議所 顧問	留任
副会長	安藤 直樹	名古屋鉄道株式会社 常務執行役員	新任
副会長	後藤 明朗	保護者	留任
副会長	森田 美奈子	保護者	新任(幹事から役職異動)
幹事	福田 仁志	保護者	新任(監査から役職異動)
幹事	福田 淳一	保護者	留任
幹事	臼井 邦彰	保護者	留任
幹事	山本 るりこ	保護者	留任
幹事	廣川 和美	保護者	留任
幹事	樋口 敏朗	保護者	留任
幹事	尾崎 祐子	保護者	留任
幹事	後藤 武志	保護者	留任
幹事	加藤 京子	保護者	留任
幹事	岩田 律子	保護者	留任
幹事	梶田 明敬	保護者	留任
幹事	山野井 陵子	保護者	留任
幹事	岡元 愛	保護者	留任
幹事	羽田 ゆき	保護者	留任
幹事	佐々木 みづき	保護者	留任
幹事	岩田 浩希	保護者	留任
幹事	河竹 貴子	保護者	新任
幹事	浅井 紳一郎	保護者	新任
幹事	亀井 三千	保護者	新任
幹事	榊原 由子	保護者	新任
幹事	梶田 麻子	保護者	新任
幹事	御厨 麻紀子	保護者	新任
幹事	花井 智	保護者	新任
幹事	小松 理佐子	日本福祉大学教職員	留任
幹事	大口 将	日本福祉大学教職員	留任
幹事	亀山 哲也	日本福祉大学教職員	留任
監査	各務 元浩	保護者	留任
監査	山田 祐輔	保護者	新任(幹事から役職異動)
相談役	鴻池 一季	元株式会社鴻池組名誉会長	留任

# 日本福祉大学後援会会則

## 第1章 総則

### 第1条

本会は、日本福祉大学後援会と称し事務局を日本福祉大学研究本館内に置く。

2 本会は、必要に応じ地方に支部を置くことができる。

## 第2章 目的及び事業

### 第2条

本会は、日本福祉大学の教育と研究活動に対する後援・援助及び文化的諸事業等をとおして、大学の充実・発展を図り、もって我が国の文化の向上に寄与することを目的とする。

### 第3条

本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 大学の教育・研究活動への後援
- (2) 学生の諸活動への援助
- (3) 文化的諸事業の実施
- (4) 大学と会員との交流
- (5) その他必要と認められる事業

## 第3章 組織及び役員

### 第4条

本会は、本会の趣旨に賛同した次の会員をもって組織する。

- (1) 普通会員
  - ① 普通会員会費を納入した学生の保護者
  - ② 普通会員会費を納入したその他の者
- (2) 法人会員 法人会員会費を納入した者
- (3) 特別会員 本会の事業に対して、専門的な協力を行う者
- (4) 賛助会員 寄付金等により本会を援助した者

## 第5条

本会に次の役員等を置く。

- (1) 会長 / 1名
  - (2) 副会長 / 若干名
  - (3) 幹事 / 若干名
  - (4) 監査 / 2名
  - (5) 支部長 / 各支部に1名
  - (6) 相談役 / 若干名
  - (7) 顧問 / 若干名
  - (8) 事務局長 / 1名
- 2 前項第1号から第4号の者をもって役員とする。
  - 3 本会に名誉会長をおくことができる。

## 第6条

役員等は普通会員・法人会員・特別会員の中から選任する。

- 2 役員等の選任は、次の方法による。
  - (1) 会長、副会長、幹事及び監査は、総会において選任する。
  - (2) 名誉会長は、会長が委嘱する。
  - (3) 相談役及び顧問は、会長が委嘱する。
  - (4) 支部長は、会長が委嘱する。
  - (5) 事務局長は、会長が任命する。
- 3 前第1項及び前第2項にかかわらず、会長は総会の承認をへて大学教職員の中から3名程度を幹事に委嘱することができる。

## 第7条

役員等の任務は次の通りとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、定例総会、臨時総会、幹事会を招集し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。
- (3) 幹事は、正副会長とともに本会の事業の企画・遂行に必要な立案並びに処理にあたる。
- (4) 監査は、本会の会計監査にあたる。
- (5) 支部長は、地方会員の連絡にあたり、本会の事業に協力する。
- (6) 相談役は、本会への助言等にあたる。
- (7) 顧問は、会長の諸問に応じる。
- (8) 事務局長は、会長の命を受け、事務を統括する。

## 第8条

役員等の任期は1年とする。但し、再任をさまたげない。

## 第4章 会議

### 第9条

本会の会議は、定例総会、臨時総会、幹事会の3種とする。

- (1) 定例総会は、毎年1回春季に開催し、会計・会務の報告、予算の承認、役員を選出、その他必要な事項を付議決定する。
- (2) 臨時総会は、会長が必要と認めた場合、又は会員の3分の1の申し出がある場合、臨時開催する。
- (3) 幹事会は、第5条第1号から第3号の者をもって構成し、必要に応じて開催する。

### 第10条

議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。但し、会則の改正は、総会出席者の3分の2以上の同意を要する。

## 第5章 会計

### 第11条

本会の経費は、会費、寄付金及び資産から生じる果実をもってあてる。

### 第12条

本会の会費は、次のとおりとする。

#### (1) 普通会員

##### ① 第4条(1)①に該当する会員

在学中分	50,000円
2年次編入学生	37,500円
3年次編入学生	25,000円
通信教育課程	10,000円

会費は入学手続き時に、一括して納入するものとする。

##### ② 第4条(1)②に該当する会員 年額 10,000円

会費は、年度初めに受け付けるものとする。但し、申し出により随時受け付けることができる。

#### (2) 法人会員 年額 30,000円

会費は、年度初めに受け付けるものとする。但し、申し出により随時受け付けることができる。

### 第13条

本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

#### 第14条

本会の資金の管理及び処分に関する必要事項は、総会の決議にもとづき 会長が定める。

### 第6章 事務局

#### 第15条

本会の業務を処理するために事務局を置く。

2 事務局は、大学に委託する。

### 第7章 会則の撤廃

#### 第16条

この会則の改廃は、総会の議を経て行うものとする。

#### 付則

1. この会則は、昭和63年12月10日より制定施行する。
2. この会則は、平成3年6月1日より一部改正施行する。
3. この会則は、平成4年6月27日より一部改正施行する。
4. この会則は、平成12年7月1日より一部改正施行する。
5. この会則は、平成15年7月13日より一部改正施行する。